

令和6年度もスタートし2か月が過ぎ、3年生にとっては就職や進学の進路実現が迫ってきました。今回は今年度のキーワード「挨拶、清掃、時間」について記したいと思います。このことは、高校生の間だけではなく、社会人になっても大切なことだと考えています。ひとつの考え方の参考になればと思います。

「挨拶、清掃、時間」

「挨拶」

今日も気持ちの良いあいさつができました。

でも、あいさつとは何でしょうか？

「おはようございます。」や「こんにちは」の言葉自体にはあまり意味がありません。

なのに、何故 “あいさつ” が大切とされているのでしょうか。

実は、“あいさつ”には「自分の心をひらく」という大切な意味があります。

心をひらくことで、「あなたは敵ではありません」という合図を相手に送っているのです。

だから、“あいさつ”をして気持ちが良いのです。

心をひらくことは、コミュニケーションの入口です。お互いに味方であることを確認して、初めてコミュニケーションが成立します。

第一印象で“あいさつ”が大切と言われるのは、互いに味方かどうかの確認作業が必要だからです。反対に、“あいさつ”を相手に返さないと嫌な気分になるのは、相手が自分に敵意を持っていると、こちらが受け取るからです。

また、心をひらく行為である“あいさつ”は、相手の存在を認めていることを積極的に伝える行為でもあります。

そんな“あいさつ”をする上で大切なポイントは、笑顔で明るい声で、心をこめて“あいさつ”をすること。「あなたと良好な人間関係を築きたい」という心が大切です。

一番大切なポイントは『自分から“あいさつ”をすること』。相手がしてくれたらするというスタンスではなく、自分から“あいさつ”をする積極性が大切です。もちろん、あいさつを返してくれないという人もいるかもしれませんが。返事がなくても、“あいさつ”をし続けることが警戒心を解く唯一の方法かもしれません。

そして、できれば“あいさつ”の続きに一言加えること。「元気ですか。」「調子はどうですか。」「調子よさそうだね。」「そこからあなたとのコミュニケーションが始まります。



「清掃」

整理・整頓され、掃除が行き届いた学校や会社は、入ったその瞬間から気持ちが良いものですし、そこで学ぶ学生や働く人たちも気分よく毎日過ごせると思います。

掃除を通して何かと“気づき”が生まれ、言葉では教わることのできない生活の心構えも自然と身につきます。また、自分の手できれいにすることによって清掃した場所への愛着を得られます。

かの松下幸之助氏は次のように言ったそうです。

「自分の身の回りをきれいにできない者が、なぜ社会をきれいにできるのか」。

私も会社勤めしていたとき、かつての上司から「仕事は机や書類の整理から」と言われました。これは本場で、書類や机上の整理・整頓ができていないと頭の中も整理できませんし、効率的な仕事はできないように思います。

「掃除」という行為には、すべてに通用する事の本質があるような気がします。すべてのものづくりの土台となるものであり、単に学校や職場の環境だけでなく“人の心も磨いていくもの”ではないでしょうか。

ちょっと偉人たちの言葉を借りてみたいと思います。

「掃除をするということは、修行なんや。修行というのは、大切なものである。修行を捨てるのは、宝を捨てるのと一緒にや。その怠け心は君、戒めないといけない。」 松下幸之助



「自分は人より才能があるとは思えないが、たったひとつだけ思い当たるのは、自分は他人と違ってトイレ掃除が好きなこと」 ビートたけし

松下幸之助氏の考え方を改めて記しておきます。

掃除とは誰でもない自分が実践するものであると。その”みずから実践する”ところに大きな意義を感じていたのです。

掃除をすることの意味は5Kで表され、1. 謙虚な人になれる 2. 気づく人になれる 3. 感動の心を育む 4. 感謝の心が芽生える 5. 心を磨く、つまり、掃除は仕事と直結する。

掃除から得られた5K(技術)が仕事につながり、何事によらず主体的に働けるのである。だからこそ、自分自身の糧となる。

みなさんも、掃除時間 10 分です。一生懸命取り組んでください。



「時間」



あいさつと同様に、人間関係を築く上で最も重要なことは、約束した時間を守ることです。

約束を守る。時間を守る。それは、人としての基本だと思います。時間を守ることの大切さ、『大切な時間』と『時間泥棒』について話していきたいと思います。

全ての人間に同じだけ与えられているものは、何だろうか？それは時間、一日 24 時間という時間です。一生の時間は、人それぞれ寿命が違うので異なりますが、一日 24 時間は全ての人に平等に与えられています。多忙な人でも、暇な人でも、全ての人に、一日は 24 時間です。

自分の持っているこの 24 時間を如何に大切に使うかが、これからの人生で非常に重要です。

皆さんは起きてから、通学、授業、食事、部活動、宅習、睡眠など決まった時間があり、自分が全く自由に使える時間は少ないかも知れません。

如何に自由な時間を生み出し、時間を有効に使うかも大切なタイムマネジメントです。

もう一つ他人の大切な時間を、盗まないこと、時間泥棒にならないことも大切です。

例えば授業や集会や行事に遅刻する。待つ時間または来たとき中断される時間は、たとえ 1 分でも 40 人の友だちの時間合計 40 分を盗んでしまったことになります。友だちとの待ち合わせや、部活の集合に遅れると、時間を盗むだけでなく迷惑がかかります。

大人になると遅刻をいつもする人、毎回会議や約束時間に遅れる人は、ルーズないい加減な人として信用されません。

信用と信頼は、社会生活で最も大切なもの。通常待ち合わせは5分～10分前に目的地に着くのが常識です。

また携帯電話やゲーム、テレビなど目的もなく使用し、無為に時間を過ごすのは、携帯電話などに時間を盗まれていることです。自分の時間を大切にすることは、他人の時間も大切にする。時間を大切にすれば、余裕がでる。余裕ができれば前向きになります。

時間を守ることが大事なのか？という、その最大の理由は「周りの人に迷惑をかけるから」です。自分だけの問題ではなく、他人を巻き込んで迷惑をかけることになるからです。

人に迷惑をかけないためにも、時間厳守。遅刻厳禁。

タイムマネジメント、しっかり時間を管理してください。



高校時代は大人への架け橋、社会に出た際に周囲と協調できるよう、マナーや言葉遣いをはじめ、お互いに気持ちよく付き合える対応力を身に付けておくべき時期です。その基礎となるのが「元気でさわやかな挨拶」「心のこもった清掃」「時間を守ること」であると考えています。